



# 東 俣 野 2月

東俣野小学校 学校だより

令和4年1月31日

## 大空に舞う

副校長 大山 高幸

冷たい風に身の引き締まる思いがする朝、校庭や学校の周囲に目を向けると花壇や畑には霜柱が見られます。しかし暦の上ではもうすぐ立春、校庭の木々の枝の先の蕾に、そう遠くない春の予感を感じる今日この頃です。

さて、1月28日（金）に東俣野小の一大行事である「凧あげ大会」が行われました。昨年末の新型コロナウイルスの劇的な減少からオミクロン株の感染症拡大と目まぐるしい動きの中で、凧あげ大会当日に向け凧名人の皆様から職員に、凧作りの流れとポイントをご伝授いただきました。凧名人の皆様には、さらに6日間にわたり、各学年の凧作りで子どもたち一人ひとりにご丁寧にご指導いただきました。本当にありがとうございました。

凧あげ大会当日は、PTA役員の皆様も、子どもたちの交通安全のため学校から凧あげ会場までの経路に立っていただきました。寒い中を本当にありがとうございました。

今年は昨年と比べ、少々気まぐれながらも風に恵まれ、お天気も良く、みんなで手作りの凧を大空にあげることができました。澄み切った青空に一人ひとりの凧が舞う姿は壮観の一言に尽きます。

子どもたちはいずれ成長し、地域で生きる住民としてこの地域を創っていきます。この取組はまさに地域と学校と保護者が連携し、地域が学校を創り、学校が地域を創るということの一つであると考えます。子どもたちには東俣野で学んだこの伝統を忘れずに、思いを受け継いでいってほしいものです。

一つの行事を通して成長する子どもたちです。子どもたちがどんなことを学び、どんなことを感じ取っているか、一人ひとりの思いをしっかりと受け止め、これからの教育活動に活かしていきたいと思えます。